



札幌市白石区にある本社

「マンション用ボイラーの交換周期は12年前後。2005年頃に完成したマンションは交換期にさしかかっている」と山田健二社長は語る。

今年で設立50年を迎える博光は、暖房機器の交換・修理を手がける専門企業。屋内用ボイラーの交換においては6年連続、屋外用は3年連続で道内トップの実績を誇る。札幌市内を中心に、近郊の多くのマンション管理組合、管理会社から指定業者の認定を受けている。

同社ではあらゆる大手メーカーの製品を扱っているため、ボイラー、パネルヒーター、ファンコンベクターなど、それぞれ異なるメーカーの製品を使用している場合にも対応。メーカーの種類にとらわれず、暖房設備全体を扱えることが強みだ。

「暖房機器のトラブルで多いのは、パネルヒーターが暖まらないという相談です。ヒーター内部を巡る不凍液の交換を定期的におこなうだけでも、不具合のリスクは下がります。暖房を使わない夏場にバルブを閉めてしまふとヒーター内部の不凍液が停滞してしまい、配管トラブルの原因となる場合があるので注意が必要です」と同社営業部の山田貴之さんは語る。

マンション用ボイラーは受注



山田健二社長

道内トップの実績を誇る暖房設備のプロフェッショナル

暖房・給湯ボイラー

博光

札幌市白石区東札幌2条5丁目6-7 NCKビル1階
☎011・595・7851 <http://hakkoh.info/>

生産品のため、一般的に交換まで2カ月待ちというケースが多い。しかし、同社ではこの長い待ち時間を解消するため、常時在庫を確保し迅速な交換を実現。長年に渡り築いてきたメーカー

との信頼があるからこそできることだ。また、24時間対応のコールセンターを設置し、緊急時の施工にも対応している。「冬場の暖房トラブルは一刻を争います。スピード感のある対応をすることで、少しでも早くお客さまの不安を和らげるように心掛けています」と同社の磯智理さんは語る。



山田貴之さん



磯智理さん

同社では施工品質向上のために研修用のボイラーを社内を設置。分解・組み立てなどをおこない、より深い知識の習得にも余念がない。



屋外用マンションボイラー